

眼科杉田病院で診療を受けられる（受けられた）患者さんへ
 …… 臨床研究に関する情報公開について ……

当院では、以下の臨床研究を実施しております。

この臨床研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報等の診療情報を、この臨床研究のために利用されることについて、ご了承いただけない場合には、この臨床研究の研究対象とはいたしませんので、患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。このことによって、患者さんに不利益が生じることはありません。

この臨床研究の詳細についてお知りになりたい場合も、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。ただし、臨床研究の詳細については、他の研究対象者その他第三者の個人情報や知的財産の保護に支障がある場合には、開示できないこともあります。その意味では限られた範囲内の情報開示となることもあります。

研究課題名	角膜内皮移植術施行症例を対象とした狭隅角と水疱性角膜症との関連性の検討		
研究実施予定期間	院長が研究実施を許可した日～（西暦）2023年12月31日		
研究実施診療科	眼科		
研究の倫理審査等	臨床研究審査委員会審査日	2023年 2月 8日	
	院長が研究実施を許可した日	2023年 2月 8日	
対象となる方	2012年以降に当院で角膜内皮移植術を受けた、もしくは今後受ける方の中で、術前の前房深度が2.2mm以下の方を対象とします。		
対象期間	（西暦）2012年1月1日～2023年12月31日		
研究責任者	所属	眼科杉田病院	氏名 片岡卓也
研究の意義・目的	急性緑内障発作により角膜内皮細胞が障害されますが、発作が自覚されないまま進行して水疱性角膜症に至り、角膜内皮移植術が必要となる方がいます。そのため、当院で角膜内皮移植術を受けられた方の手術前の所見を比較することで、発作が生じるリスク要因を調査するとともに、その予防方法についても検討します。		
研究の方法	角膜内皮細胞密度減少の原因特定の有無、術前の角膜内皮細胞密度、前房深度、眼圧および緑内障視神経症の有無について、診療録を遡る形で比較します。		

研究に使用するもの	診療録から得られる情報を、匿名化した上で使用します。(年齢、性別等の基本情報、基礎疾患、治療歴、術前検査記録結果、術後検査記録結果など)
結果の公表	関連学会等で発表する予定です。対象者の氏名等の、直ちに個人を特定できる情報を公表することはありません。
個人情報の保護	対象者の方の診療情報を使用する際には、氏名や住所等といった個人を直ちに特定できるような情報を切り離し、対象者個人とは無関係の番号を付けた上で、研究責任者の責任の下、廃棄するまで厳重に保管・管理いたします。個人情報管理責任者(研究責任者)は片岡卓也です。
研究の資金源	本研究の資金は、眼科の研究費を使用します。外部からの資金提供はありません。
利益相反	この臨床研究の実施にあたり、研究の透明性や公正性を損なうような利益相反はありません。
情報等の二次利用	特に予定していませんが、今後数年間の経過を経て、既往の解析データとして今回の臨床研究のデータを利用する場合があります。ただし、個人情報の保護を図った上で使用いたします。
問い合わせ先	眼科杉田病院 事務センター 加賀 電話 052-251-6571 (代表)